

セキュリティ・安全対策について

セキュリティ・安全対策について

システムのセキュリティを確保するための対策

VPN装置の設置

当クラウド環境ではVPN装置を設置し、ユーザ認証およびデータの暗号化を行った上でTrial Site がご利用いただけます。

セキュリティパッチの適用

月1回の定期メンテナンス日を設け、各サーバにMicrosoft社のセキュリティパッチの適用を実施しています。

ウイルス対策

コンピュータ・ウイルス対策ソフトを導入し、ウイルス定義ファイルの更新およびファイルスキャンを1回／日実施しています。

セキュリティ・安全対策について

システムの信頼性を確保するための対策

機器構成

システムを構成する各サーバやネットワーク機器について、多重化や予備機の確保を行うことでシステムの信頼性を高めています。そして、各サーバやストレージのハードディスクはRAID構成のものを採用しています。また、将来的な利用者の増加に応じてサーバやネットワーク機器などが増強できるように、拡張性を考慮した、システム設計を行っています。

キャパシティ評価(機器増強)

クラウド環境の運用においてサーバやネットワークの負荷状況を監視するとともに、キャパシティ評価(現状分析、将来予測)を行うことで、タイムリーに機器の増強を行っています。

時刻同期

システムを構成する各サーバは、タイムサーバと自動的に時刻同期を行っています。(タイムサーバはGPS 衛星と時刻同期を行っています。)

システムの信頼性を確保するための対策(つづき)

バックアップ・リストア

バックアップ、およびリストアに関する手順を定め、これに基づき適切に運用を行っています。日々更新されるTrial Site の業務データについては、1回/日のバックアップを行い、OS のシステム部など更新頻度の低いデータについては、システム構成に変更があった場合など必要に応じて随時バックアップを行っています。また、業務データについては、バックアップ媒体の遠地保管を実施しています。

セキュリティ・安全対策について

データセンターのセキュリティ

入退出管理

非接触IC型ドアゲートの設置、バイオ認証装置(血流センサー)の設置

ITV監視カメラ

室内、外構合わせて約50台のITV監視カメラ(※)を設置

※ITV監視カメラ:建物内部の重要場所を監視する防犯設備のひとつ。

リモート監視

リモートセンターによる24 時間設備監視、警備会社による24 時間セキュリティ監視

データ保管庫

マシン室よりセキュリティレベルの高いエリアにデータ保管庫を設置

セキュリティ・安全対策について

データセンターの安全対策

停電対策

商用電源の引込みルート二重化、自家発電設備やUPS(※) 設備の設置

※UPS:蓄電池から電力を供給する電源設備のひとつで、電力会社からの電力が途絶えた場合であっても、無停電で電源を切り替えるための電源装置。

火災対策

窒素ガス消火設備の設置、超高感度煙検知機の設置

漏水対策

空冷空調方式、空調機械室の配管をマシン室と分離、漏水センサーの設置

雷対策

地中埋設によるケーブル引込みにより落雷事故防止、高圧変電所分電盤に避雷器を設置

湧水対策

空冷空調方式の為、空調設備への影響なし

地震対策

新耐震構造、耐震型二重床の設置(震度7相当にも耐えうる)